

第50期 事業報告書

平成18年4月1日～平成19年3月31日



パワーロックⅡ



代表取締役社長

権藤 勇夫

株主の皆様へ

株主の皆様にはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のお引立てを賜り厚くお礼申し上げます。

当社第50期（平成18年4月1日から平成19年3月31日まで）の営業の概況等につきまして以下のとおりご報告申し上げます。

企業集団の現況に関する事項 (平成18年4月1日から平成19年3月31日まで)

1. 事業の経過及びその成果

当連結会計年度におけるわが国の経済は、米国並びにBRICsを中心とした輸出の好調と設備投資の増加等に支えられ、企業業績は順調に推移し、雇用環境が改善する中で個人消費も底堅く推移するなど、景気は好況を維持してまいりました。

その一方で当社が属するコンクリート製品業界におきましては、公共工事・土木分野の建設投資が二桁近い減少率で縮減状況が続くなか、同業社間の過当競争に歯止めがかからぬまま依然として厳しい状況が続いております。

このような経営環境下で当社は、「新中期経営計画（平成16年4月1日～平成21年3月31日）」の目標必達に向けて、改革の柱である営業戦略の強化及びコスト削減に鋭意努力し、市場変化を意識した経営への転換に努めてまいりました。又、当連結会計年度において、生産性の向上並びに当業界が抱える過剰供給構造問題の是正を目指して同業社との業務提携の推進並びに新たな市場の開拓に向けて子会社を設立するなど、さらなる改革に向けグループ全社を挙げて経営の効率化に取り組んでまいりました。

これらの結果、当連結会計年度の売上高は132億5百万円（前連結会計年度比17.6%増）となりました。利益面につきましても、経常利益は3億70百万円（前連結会計年度比26.4%減）、当期純利益は3億27百万円（前連結会計年度比16.4%減）とほぼ計画どおりの業績を達成することができました。

(売上高の内訳)

(単位：千円)

期 別 部 門	第49期 平成17年4月1日から平成18年3月31日まで		第50期 平成18年4月1日から平成19年3月31日まで	
	金 額	構成比率(%)	金 額	構成比率(%)
コンクリート製品製造・販売事業	11,231,804	100.0	13,202,562	100.0
土 木 部 門	10,236,389	91.1	12,411,116	94.0
景 観 部 門	538,411	4.8	410,025	3.1
レジンコンクリート部門	457,004	4.1	381,420	2.9
そ の 他 の 事 業	—	—	2,654	0.0
合 計	11,231,804	100.0	13,205,216	100.0

2. 資金調達の状況

資金調達につきましては、金融機関よりの借入による経常的な資金調達のみであります。

3. 設備投資の状況

- ① 当連結会計年度中の設備投資の総額は3億44百万円であります。
- ② その主なものは各工場における工具型枠及び機械装置であり、機械装置については以下のとおりであります。

工 場	内 容
福 岡 工 場	プラント設備・砂利供給傾斜ベルトコンベア
鹿 児 島 工 場	1.5m ³ 生コン投入機

4. 対処すべき課題

今後のわが国経済は、金利の上昇や米国経済の減速不安など景気に対する懸念材料は残るものの、企業収益力の回復や設備投資の増加、雇用情勢の好転等を背景として、引き続き景気は順調に推移するものと思われれます。

しかしながら当業界におきましては、建設市場なかんづく公共工事分野については国並びに地方自治体の緊縮財政下、今後も公共事業予算の縮減傾向は続くものと考えられます。又、鉄筋、セメント等の高騰がコスト面に大きな影響を及ぼすことが想定されており、当社グループを取り巻く経営環境の厳しさは当面続くものと認識しております。

このような厳しい経営環境下で当社グループは、「新中期経営計画（平成16年4月1日～平成21年3月31日）」については、3年間の目標を達成いたしました。今後のめまぐるしい経営環境の変化に即応するため、平成19年度を初年度とする三ヵ年の中期経営計画を新たに策定いたしました。

今後、グループの総力を挙げて本計画の達成に取り組み、グループ全社の業績向上と持続的発展を目指してまいります。

5. 財産及び損益の状況の推移

① 企業集団の財産及び損益の状況の推移

区 分	平成16年度 第48期	平成17年度 第49期	平成18年度 第50期(当連結会計年度)
売 上 高(千円)	11,021,482	11,231,804	13,205,216
経 常 利 益(千円)	213,239	503,625	370,641
当 期 純 利 益(千円)	404,471	392,058	327,571
1株当たり当期純利益	76円75銭	86円98銭	69円75銭
総 資 産(千円)	9,557,446	9,627,990	11,079,665
純 資 産(千円)	834,596	1,252,022	1,583,596
1株 当 たり 純 資 産	52円04銭	144円65銭	212円77銭

(注) 1 第48期より連結計算書類を作成することとなりましたので、第47期以前の企業集団の財産及び損益の状況は記載いたしておりません。

2 第50期より「貸借対照表の純資産の部の表示に関する会計基準」（企業会計基準委員会 平成17年12月9日 企業会計基準第5号）及び「貸借対照表の純資産の部の表示に関する会計基準等の適用指針」（企業会計基準委員会 平成17年12月9日 企業会計基準適用指針第8号）を適用しております。

② 当社の財産及び損益の状況の推移

区 分	平成15年度 第47期	平成16年度 第48期	平成17年度 第49期	平成18年度 第50期(当期)
売 上 高(千円)	11,759,406	11,059,945	11,230,243	12,575,938
経常利益(△損失)(千円)	△ 377,268	211,634	492,118	367,528
当期純利益(△純損失)(千円)	△ 4,087,720	403,359	386,012	331,757
1株当たり当期純利益(△純損失)	△749円43銭	76円53銭	85円63銭	70円68銭
総 資 産(千円)	10,666,741	9,565,354	9,555,163	10,687,302
純 資 産(千円)	△ 183,119	835,322	1,246,702	1,570,855
1株 当 たり 純 資 産	△ 33円57銭	52円21銭	143円47銭	212円52銭

(注) 第50期より「貸借対照表の純資産の部の表示に関する会計基準」（企業会計基準委員会 平成17年12月9日 企業会計基準第5号）及び「貸借対照表の純資産の部の表示に関する会計基準等の適用指針」（企業会計基準委員会 平成17年12月9日 企業会計基準適用指針第8号）を適用しております。

6. 主要な事業内容

企業集団の主要な事業内容

①コンクリート製品製造・販売事業

セメント製品の製造・販売並びに施工、一般土木工事の施工並びに管理、樹脂コンクリート製品の製造・販売並びに施工を主な事業とし、その製品は大別して、次のとおりであります。

土木製品	河川製品類	ケスタ、グリーンロック、ネクストーン、E-ブロック、げんじくん、かご柵、のり柵、がんちゃん、のぼるくん、とおりゃん瀬、擬木沈床、CCブロック	景観製品	舗装材	洗い出し及び擬石による平板・縁石・階段・皿型、トレノックス (NOx除去平板)、植込柵、植樹柵他
	擁壁類	パワーロック、逆Y型擁壁、ストーンフォーム、ゆうパネル		ストリートファニチャー	車止め、外柵、ベンチ、吸殻入れ・屑入れ、水飲み、プランター、ポール、パーゴラ、モニュメント、LEDを埋め込んだピカコン車止、ピカコン外柵、蓄光製品 他
	L型擁壁類	NNC、ハイタッチウォール、スーパークリフ、ガードクリフ	レジコンクリート製品	UPC階段、YRG (U形用蓋・側溝蓋)、fitサークル、カーストップ、フリーボーイ、誘導ブロック、係船柱、LEDを埋め込んだピカコン車止、ピカコンカーストップ、レジ多孔管、分岐部側板 他	
	カルバート類	ボックスカルバート、大型斜角カルバート、アーチカルバート、エアークャスター工法			
	函渠・暗渠類	ライン側溝、サイドライン側溝、側溝カルバート、NJ境界集水溝、重圧管			
	側溝類	ピット側溝、リボーン側溝、SF側溝、YCL側溝、トライポット用側溝			
	道路製品類	そうげん、プレガードⅡ、SGF (仮設用防護柵)、美サイレント、遮・ウォール			
	水路類	YT水路、三面水路、軽量三面水路			
その他	アクアボンド、ボックスガレージ、防火水槽、耐震性貯水槽				

②その他の事業

主に貼紙、落書き予防用コーティング剤等の開発・製造・販売の事業を行っております。

●土木部門

道路、港湾、河川、上下水道、宅地開発など、私たちの周りではさまざまな目的で開発事業が進められておりますが、今日の開発事業は環境への配慮を抜きには考えられなくなってまいりました。土木部門では、「開発の基本は自然との共存である」という考えからさらに一歩進んで、「自然の姿を破壊せずに融合を図り、より自然に近い環境を創出する」ことを念頭においたコンセプトをもとに、国土を守り、環境を保全し、人々の快適な暮らしを支える製品を数多く生み出しています。



アーチカルバート



ネクストーン



エアークャスター工法

●レジンコンクリート部門

レジンコンクリートは特殊樹脂をバインダーとして自然石を固化成形した人造石です。セメントコンクリートの3~4倍の機械的強度があり、耐摩耗性、耐薬品性、耐水性などにも優れ、美観とともに強度や耐久性の両面が必要とされる環境条件に最適な材料です。港湾、漁港の車止め、コーナー及び係船柱は塩害対策として利用されています。又、多彩な色彩表現及び優れた成形性によりアート感覚溢れる景観構成材としても幅広く利用されています。



カーストップ



YRG集水蓋

● 景観部門

街や都市の公園、テーマパークやアーバンリゾートは、人々の心の伸びやかさ、感受性の豊かさを育むうえで必要不可欠のものです。

緑地の花や樹木、自然の風景は人の心をなごませ潤いを与えます。

多彩な表情を持つヤマウの景観構成材は自然環境に広がり、と奥行きを与え、開放感やスケール感を損なうことなく美しい景観を演出します。



擬石平板、車止め



車止め

トピックス

パワーロックⅡ

玄界島の地震災害地や宮崎での台風災害地にも納入され、復興に貢献しています。

特長

- ① 控長が500mmから3000mmまで規格されており、現場条件に適応した最適な擁壁断面を構築できます。
- ② 擁壁前面勾配1：0.5において水平積の施工のため、工期の短縮ができます。
- ③ 1個のブロックが軽量であるため、運搬や製品吊上げがスムーズに行えます。
- ④ カーブ施工や施工延長調整用の調整ブロックも用意しており、現場に合わせた施工ができます。



玄界島復興工事

財務諸表

貸借対照表 (平成19年3月31日現在)

(千円未満切捨)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
流 動 資 産	7,522,346	流 動 負 債	4,371,810
現金及び預金	224,443	支 払 手 形	2,596,298
受 取 手 形	3,503,856	買 掛 金	710,002
売 掛 金	2,424,447	短 期 借 入 金	400,000
有 価 証 券	798	未 払 金	485,953
商 品	20,761	未 払 法 人 税 等	17,816
製 品	1,157,470	未 払 消 費 税 等	11,889
原 材 料 ・ 貯 蔵 品	109,243	預 り 金	2,426
仕 掛 品	68,708	賞 与 引 当 金	71,164
前 渡 金	30,000	短 期 設 備 支 払 手 形	63,051
前 払 費 用	21,873	そ の 他 の 流 動 負 債	13,208
未 収 入 金	41,895	固 定 負 債	4,744,637
そ の 他 の 流 動 資 産	42,581	長 期 借 入 金	4,238,600
貸 倒 引 当 金	△ 123,734	退 職 給 付 引 当 金	461,687
固 定 資 産	3,164,956	繰 延 税 金 負 債	41,789
有 形 固 定 資 産	2,800,781	リ ー ス 資 産 減 損 勘 定	2,560
建 物	700,619	負 債 合 計	9,116,447
構 築 物	134,665	(純資産の部)	
機 械 装 置	589,942	株 主 資 本	1,512,558
車 両 運 搬 具	2,831	資 本 金	800,000
工 具 器 具 及 び 備 品	190,711	資 本 剰 余 金	300,000
土 地	1,178,109	資 本 準 備 金	300,000
建 設 仮 勘 定	3,901	利 益 剰 余 金	424,120
無 形 固 定 資 産	50,674	そ の 他 利 益 剰 余 金	424,120
電 話 加 入 権	11,510	特 別 償 却 準 備 金	3,354
そ の 他 の 無 形 固 定 資 産	39,163	繰 越 利 益 剰 余 金	420,766
投 資 そ の 他 の 資 産	313,500	自 己 株 式	△ 11,561
投 資 有 価 証 券	220,670	評 価 ・ 換 算 差 額 等	58,296
関 係 会 社 株 式	33,000	そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	58,296
差 入 保 証 金	38,209	純 資 産 合 計	1,570,855
破 産 債 権 ・ 再 生 債 権 ・ 更 生 債 権	269,128	負 債 及 び 純 資 産 合 計	10,687,302
そ の 他 こ れ ら に 準 ず る 債 権			
そ の 他 の 投 資 等	26,104		
貸 倒 引 当 金	△ 273,613		
資 産 合 計	10,687,302		

損益計算書 (平成18年4月1日から平成19年3月31日まで) (千円未満切捨)

科 目	金 額	
売 上 高		12,575,938
売 上 原 価		9,519,514
売 上 総 利 益		3,056,423
販売費及び一般管理費		2,683,320
営 業 利 益		373,103
営 業 外 収 益		
受取利息・配当金	3,605	
保険配当金収入	6,547	
業務受託料収入	20,274	
鉄屑処分収入	24,777	
その他の営業外収益	38,424	93,628
営 業 外 費 用		
支 払 利 息	77,156	
たな卸資産評価損	10,263	
その他の営業外費用	11,783	99,203
経 常 利 益		367,528
特 別 利 益		
前期損益修正益	7,987	7,987
特 別 損 失		
固定資産売却損	58	
固定資産除却損	33,224	
その他の特別損失	35	33,318
税引前当期純利益		342,197
法人税、住民税及び事業税	12,329	
法人税等調整額	△ 1,889	10,440
当 期 純 利 益		331,757

株主資本等変動計算書 (平成18年4月1日から平成19年3月31日まで)

(千円未満切捨)

	株 主 資 本		
	資 本 金	資 本 剰 余 金	
		資本準備金	資本剰余金合計
前 期 末 残 高	800,000	300,000	300,000
当 期 変 動 額			
利益処分による特別償却準備金の取崩			
特別償却準備金の取崩			
当 期 純 利 益			
自己株式の取得			
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)			
当 期 変 動 額 合 計	—	—	—
当 期 末 残 高	800,000	300,000	300,000

	株 主 資 本				
	利 益 剰 余 金			自己株式	株主資本合計
	その他利益剰余金		利益剰余金合計		
	特別償却準備金	繰越利益剰余金			
前 期 末 残 高	8,928	83,435	92,363	△ 11,129	1,181,233
当 期 変 動 額					
利益処分による特別償却準備金の取崩	△ 2,786	2,786	—		—
特別償却準備金の取崩	△ 2,786	2,786	—		—
当 期 純 利 益		331,757	331,757		331,757
自己株式の取得				△ 432	△ 432
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当 期 変 動 額 合 計	△ 5,573	337,331	331,757	△ 432	331,325
当 期 末 残 高	3,354	420,766	424,120	△ 11,561	1,512,558

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
前期末残高	65,468	65,468	1,246,702
当期変動額			
利益処分による特別償却準備金の取崩			—
特別償却準備金の取崩			—
当期純利益			331,757
自己株式の取得			△ 432
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）	△ 7,172	△ 7,172	△ 7,172
当期変動額合計	△ 7,172	△ 7,172	324,152
当期末残高	58,296	58,296	1,570,855

連結財務諸表

連結貸借対照表 (平成19年3月31日現在)

(千円未満切捨)

科 目	金 額
(資産の部)	
流 動 資 産	7,916,177
現金及び預金	485,838
受取手形及び売掛金	6,068,525
有 価 証 券	798
た な 卸 資 産	1,394,953
前 渡 金	30,000
そ の 他	66,825
貸倒引当金	△ 130,763
固 定 資 産	3,163,487
有形固定資産	2,802,972
建物及び構築物	835,284
機械装置及び運搬具	592,774
土 地	1,178,109
建設仮勘定	3,901
そ の 他	192,902
無形固定資産	52,476
投資その他の資産	308,038
投資有価証券	220,670
そ の 他	360,981
貸倒引当金	△ 273,613
資 産 合 計	11,079,665

科 目	金 額
(負債の部)	
流 動 負 債	4,723,557
支払手形及び買掛金	3,529,971
短 期 借 入 金	407,150
未 払 金	551,951
未払法人税等	41,875
賞与引当金	73,524
そ の 他	119,084
固 定 負 債	4,772,511
長期借入金	4,266,450
退職給付引当金	461,687
繰延税金負債	41,813
そ の 他	2,560
負 債 合 計	9,496,068
(純資産の部)	
株 主 資 本	1,513,692
資 本 金	800,000
資 本 剰 余 金	300,000
利 益 剰 余 金	425,254
自 己 株 式	△ 11,561
評価・換算差額等	58,296
その他有価証券評価差額金	58,296
少数株主持分	11,608
純 資 産 合 計	1,583,596
負 債 及 び 純 資 産 合 計	11,079,665

連結損益計算書 (平成18年4月1日から平成19年3月31日まで) (千円未満切捨)

科 目	金 額	
売 上 高		13,205,216
売 上 原 価		9,854,414
売 上 総 利 益		3,350,802
販売費及び一般管理費		3,016,217
営 業 利 益		334,585
営 業 外 収 益		
受取利息・配当金	3,189	
保険配当金収入	6,547	
鉄屑処分収入	24,777	
その他の営業外収益	102,623	137,137
営 業 外 費 用		
支 払 利 息	77,632	
たな卸資産評価損	10,263	
その他の営業外費用	13,184	101,080
経 常 利 益		370,641
特 別 利 益		
前期損益修正益	7,987	7,987
特 別 損 失		
固定資産除却損	33,224	
その他の特別損失	35	33,260
税金等調整前当期純利益		345,369
法人税、住民税及び事業税	38,631	
法人税等調整額	△ 13,953	24,678
少 数 株 主 損 失		6,880
当 期 純 利 益		327,571

連結株主資本等変動計算書

(平成18年4月1日から平成19年3月31日まで)

(千円未満切捨)

	株 主 資 本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
前 期 末 残 高	800,000	300,000	97,683	△ 11,129	1,186,553
当 期 変 動 額					
当 期 純 利 益			327,571		327,571
自己株式の取得				△ 432	△ 432
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当 期 変 動 額 合 計	—	—	327,571	△ 432	327,139
当 期 末 残 高	800,000	300,000	425,254	△ 11,561	1,513,692

	評価・換算差額等		少数株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計		
前 期 末 残 高	65,468	65,468	1,489	1,253,511
当 期 変 動 額				
当 期 純 利 益				327,571
自己株式の取得				△ 432
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△ 7,172	△ 7,172	10,119	2,946
当 期 変 動 額 合 計	△ 7,172	△ 7,172	10,119	330,085
当 期 末 残 高	58,296	58,296	11,608	1,583,596

会社の株式に関する事項 (平成19年3月31日現在)

●株式の状況

① 発行可能株式の総数 22,024,000株

種 類	発行可能株式の総数 (株)
普 通 株 式	20,024,000
第 1 回 優 先 株 式	2,000,000

② 発行済株式の総数 7,506,000株

種 類	発行済株式の数 (株)
普 通 株 式	5,506,000
第 1 回 優 先 株 式	2,000,000

③ 株主の数 555名

種 類	株 主 の 数 (名)
普 通 株 式	554
第 1 回 優 先 株 式	1

●大株主の状況

① 普通株式

株 主 名	当社への出資状況	
	持株数(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
明治安田生命保険相互会社	325,000	5.90
第一生命保険相互会社	240,000	4.36
株式会社福岡銀行	222,000	4.03
ヤマウ従業員持株会	197,000	3.58
株式会社鹿児島銀行	195,000	3.54
株式会社トクヤマ	181,000	3.29
株式会社西日本シティ銀行	160,000	2.91
株式会社佐賀銀行	130,000	2.36
岩井証券株式会社	122,000	2.22
リックス株式会社	112,000	2.03

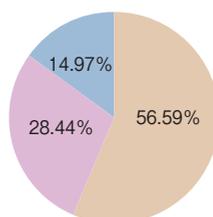
(注) 当社は、自己株式999,940株を所有しておりますが、当該株式には議決権がないため上記大株主から除外しております。

② 第1回優先株式

株 主 名	当社への出資状況	
	持株数(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
株式会社福岡銀行	2,000,000	13.31

●普通株式所有者別状況

個人・その他	478名	3,116,000株	56.59%
金融機関	14名	1,566,000株	28.44%
その他法人	62名	824,000株	14.97%



会社概要

●会社概要

商号	株式会社 ヤマウ
本社	福岡市早良区東入部 五丁目15番7号
創業	昭和28年10月
設立	昭和33年2月
資本金	8億円
代表者	代表取締役 権藤 勇夫
従業員	250名 (平成19年3月31日現在)

●役員構成

代表取締役社長	……………	権 藤 勇 夫
常務取締役	……………	中 村 健一郎
取締役	……………	伊 佐 寿 起
取締役	……………	尾 野 友 信
常勤監査役	……………	柴 田 紘
監査役	……………	樋 口 正 孝
監査役	……………	佐 藤 満 洋

(平成19年6月28日現在)

●事業所

営業所 福岡中央、福岡東、北九州、久留米、佐賀、唐津、大分、大分北、
宮崎第1、宮崎第2、高鍋、延岡、日向、都城、日南、鹿児島中央、
鹿児島北、鹿児島南、霧島、鹿屋

工場 福岡、北九州、佐賀、大分、宮崎、高崎、川南、鹿児島
(平成19年6月28日現在)



宮崎工場



鹿児島工場

株主メモ

決算期日 毎年3月31日

定時株主総会 毎年6月に開催

基準日 毎年3月31日

その他必要があるときは、予め公告をして定めます。

1単元の株式数 1,000株

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社

同事務取扱場所 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号

三菱UFJ信託銀行株式会社

証券代行部

同 取 次 所 三菱UFJ信託銀行株式会社

全国各支店

公告掲載方法 日本経済新聞

貸借対照表及び損益計算書の公告は、当社ホームページ

(<http://www.yamau.co.jp/>) に掲載しております。



この冊子はすべて再生紙を使用致しております。